

環境アセスメントの国際展開

環境アセスメントの国際展開の意義

国際環境協力の推進

アジア地域においては、インフラ開発が急速に進展し、環境影響評価制度の構築が進んでいるものの、各国は環境影響評価制度の施行において様々な課題を抱えている。

我が国事業者の海外展開の側面支援

我が国のインフラ関係等事業者や環境影響評価関係産業の国際展開を進めるためには、アジア地域における環境影響評価制度の適正化を図ることが必要。

海外情報の取り入れによる日本制度の更なる向上

「持続可能な開発目標(SDGs)」やパリ協定が採択され、これらの考え方を環境影響評価に取り込むことが国際社会において検討されており、我が国においても国際的な潮流を調査・研究する必要がある。

今後の方向性

SGDs・パリ協定を踏まえた欧米との連携

アジア各国とのネットワークの発展

2国間での支援

アジア地域における環境影響評価に関する国際会議 結果概要

1. 目的

2015年2月のワークショップでは、EIAに携わる実務者レベルで、EIAの概念、課題、優良事例等を共有し、関係者の緩やかなネットワークが形成された。

本会議では、このネットワークを維持・発展させ、課題の解決に向けたニーズとグッドプラクティスのマッチング、他の国々や国際機関等との連携に向けたきっかけづくり、将来の政策ビジョンの形成を図る。

2. テーマ “Enhancing EIA as a sustainable planning tool in Asia”

3. 日時・場所 日時：2016年5月10日 場所：愛知県名古屋市 キャッスルプラザ

4. 主催・協力等

主催：環境省 協力：アジア開発銀行(ADB) 事務局：地球環境戦略研究機関(IGES)

5. 参加者 参加総数100名程度

- ・アジア15カ国の環境影響評価の担当局長等政府関係者
- ・援助機関等の国際機関（ADB、国際金融公社（IFC）、国際協力銀行（JBIC）、国際協力機構（JICA）、世界銀行等
- ・アメリカ環境保護庁（US EPA）、オーストラリア外務貿易省（DFAT）
- ・その他環境影響評価に関する国内外の有識者等関係者



【議長サマリー】

- ・ 環境と経済の両立が持続可能な社会にとって重要であることに合意
- ・ 持続可能な社会の実現のために、環境影響評価がますます重要な役割を果たすようになってきていることが共通認識
- ・ 多くのアジア諸国は、既に環境影響評価制度を導入しているが、未だ環境影響評価制度及びその運用を改善する余地がある
- ・ アジア全体で持続可能な開発を実現していくため、国レベルで環境影響評価制度の強化を促進するべき
- ・ 環境影響評価の適切な実施を促進する一つの方法として、各国が相互に学び合うことが有意義
- ・ **この会議で構築されたネットワークの強化を通じて、参加者のコミュニケーション及び協力をさらに継続していくことに期待**

1. 目的

2016年5月の「アジア地域における環境影響評価に関する国際会議」では、アジア各国からの参加者は、環境影響評価制度とその運用の強化に向けて、課題とグッドプラクティスを共有し、今後の展開について議論をするため、今後も、同様の議論に参加する意向を示し、ネットワークや会議を通じたコミュニケーション及び協力の価値を共有した。

これを踏まえ、アジア地域の環境影響評価担当課長級を招集し、課題の共有とアジア環境法遵守執行ネットワーク（AECEN）の活動へのフィードバック、アジア環境アセスメントネットワーク（Asia EIA Network）の設立と組織の構築の可能性について議論する。

2. 日時・場所 日時：2017年3月28日 場所：バンコク

3. 主催 アジア環境法遵守執行ネットワーク（AECEN）事務局

4. 参加者

- ・アジア15カ国の環境影響評価の担当課長等政府関係者
- ・援助機関等の国際機関（ADB、世界銀行等）
- ・その他環境影響評価に関する有識者等関係者

5. 結果

アジア環境アセスメントネットワーク（Asia EIA Network）の設立に向けて、ブレインストーミングを行った。

- ・活動内容として、グッドプラクティスの共有、クリアリングハウスの設置、バイ協力、キャパシティビルディングなどについて期待が挙げられた。
- ・体制として、日本政府を含め、援助機関や民間企業等と連携する意見が出された。

2017年 国際アセスメント学会 (IAIA)

- 期間： 2017年4月4～7日
- 場所： モントリオール、カナダ
- テーマ： 環境影響評価の気候変動対策への貢献
- 全体会合
 - バリー・シュミット博士 (University of Guelph, Canada) による基調講演 (同博士は、気候変動による環境影響、適応、累積的影響の評価等の専門家)
 - 各分野の専門家による気候変動に関するパネルディスカッション 等
- テーマフォーラム
 - パリ協定と更なる取組を進めるための環境アセスメントの役割
 - 鉱業に関する気候変動適応対策
 - 環境アセスメントと保険産業 (両者の橋渡しは可能か)
 - 淡水と気候変動のリンク
 - 環境アセスメントに係る海洋研究と気候変動リスクの低減
 - 気候変動と環境アセスメントの相互作用
 - 環境アセスメントにおけるジェンダー問題
 - 環境アセスメントのプロセスにおける気候変動の統合 (カナダの現状)
 - 環境アセスメントへの生物多様性の統合 等

※ 日本国環境省からも出席。日本の風力発電に係る環境アセスメントの取組を紹介。